



(Japan Skipjack tuna Society)

令和 5 年 度

## 通 常 総 会 議 案 書

\*と き 令和5年8月16日(水) 11時00分～

\*ところ Zoom Meetingsによるオンライン会議

日本カツオ学会事務局

〒780-8073

高知市朝倉本町2丁目17-47 高知大学次世代地域創造センター内

TEL : 088-844-8734 FAX : 088-844-8556

E-mail : katsuo@kochi-u.ac.jp <http://www.katsuo-gakkai.jp>



(Japan Skipjack tuna Society)

## 令和5年度 通常役員会 次第

1. 開 会

2. 議 事 (令和5年度 通常総会提案議題)

第1号議案 令和4年度事業報告について

第2号議案 令和4年度収支決算報告(見込み)について

第3号議案 役員人事等について

第4号議案 令和5年度事業計画(案)について

第5号議案 令和5年度収支予算(案)について

第6号議案 その他

3. 閉 会



(Japan Skipjack tuna Society)

第1号議案

## 令和4年度事業報告

### 1. 概況報告

日本カツオ学会は、カツオに興味や関心を持つ、あらゆる人々が集い、各種の情報交換をはじめ、相互の交流と連携をもとに、調査研究を継続して行う機会、協働の図れる場づくりを目指して、産学官からなる発起人のもとに平成23年1月8日 高知県黒潮町で誕生した。

本学会は、会費収入を主たる財源としていることから、その後、徐々に発起人や関係自治体などを中心として、会員確保の活動を開始するとともに、カツオに関係する企業群にも本学会への参画について声掛けを進めて行った。

この結果、現状では(令和4年3月末)、個人会員131名、団体会員35団体、賛助会員6団体の会員登録を得るまでになっている。

### 2. 令和4年度カツオフォーラム

令和5年3月10日(金)、高知カツオ県民会議との共催による合同シンポジウムを開催した。3年ぶりとなる対面形式の開催となった。大学関係者や産業界などから約60名の参加者が集まり、各方面の専門家との議論を通じてカツオをめぐる諸課題について改めて再認識する機会となった。

#### <プログラム>

- 13:00-13:05 開会挨拶  
高知カツオ県民会議 山崎 道生 会長
- 13:05-14:05 気仙沼市、枕崎市、日南市、黒潮町によるリレートーク  
気仙沼市：菅原 茂 市長 (オンライン)  
枕崎市：前田 祝成 市長 (オンライン)  
日南市：高橋 透 市長 (動画)  
黒潮町：松本 敏郎 町長 (動画)
- 14:05-14:35 基調講演「カツオ資源の国際的な漁獲規制をめぐって」  
水産庁 福田 工 参事官
- 14:35-15:05 講演①「カツオ文化を支える人びと」  
日本カツオ学会 川島 秀一 会長
- 15:05-15:15 休憩
- 15:15-15:45 講演②「海洋生態学からカツオ資源を考える」  
放送大学高知学習センター 深見 公雄 所長
- 15:45-16:15 講演③「食品としてのカツオの魅力」



(Japan Skipjack tuna Society)

マルトモ株式会社 土居 幹治 常務取締役

16:20-17:20 パネルディスカッション

「これからのカツオと地域の未来を語ろう」

ファシリテーター：受田浩之（高知カツオ県民会議会長代理、日本カツオ学会  
副会長、高知大学理事・副学長）

パネリスト：山崎道生（高知カツオ県民会議会長、(株)山崎技研取締役会長）  
竹内太一（高知カツオ県民会議副幹事長、株式会社土佐料理司  
代表取締役）

中田勝淑（高知カツオ県民会議副会長、高知かつお漁協組合長、  
(有)日昇社長）

川島秀一（日本カツオ学会会長）

コメンテーター：福田工参事官、深見公雄所長

17:20 閉会

### 3. 役員会

令和4年度通常役員会は、令和5年3月9日（木）10時30分から開催。

協議事項としては、

- ① 令和4年度事業報告について
- ② 令和4年度収支決算報告（見込み）について
- ③ 役員人事等について
- ④ 令和5年度事業計画(案)について
- ⑤ 令和5年度収支予算(案)について
- ⑥ その他

以上を協議し、通常総会へ諮ることとした。

### 4. 会報誌の発行

「会報誌」の発行は、本学会を広く広報するとともに会員確保の一助とするために、当初より計画して検討してきた。令和4年度は2回発行を目標としていたが、事務局の力不足により作成できなかった。今後も事務局の労力増加は見込めないが、学会広報と会員確保の目的は堅持するため、会報誌の作成方法を再検討する。

## 令和4年度日本カツオ学会 収支決算書

### 【収入の部】

| 費目        | 予算額              | 決算額              | 増減(△)額         | 説明   |
|-----------|------------------|------------------|----------------|--|
| 1. 会費     | 506,000          | 497,000          | △ 9,000        |  |
| 個人会員      | 96,000           | 57,000           | △ 39,000       | 19人×3,000円=57,000円<br>合計57,000円                          |
| 団体会員      | 260,000          | 290,000          | 30,000         | 29件 × 10,000円 = 290,000円                                 |
| 賛助会員      | 150,000          | 150,000          | 0              | 1団体×90,000円=90,000円<br>2団体×30,000円=60,000円<br>合計150,000円 |
| 2. 雑入     | 9                | 13               | 4              |  |
| 雑入        | 9                | 13               | 4              | 預金利息 13円   |
| 3. 繰越金    | 1,101,225        | 1,101,225        | 0              |  |
| 前年度繰越金    | 1,101,225        | 1,101,225        | 0              |  |
| <b>合計</b> | <b>1,607,234</b> | <b>1,598,238</b> | <b>△ 8,996</b> |  |

### 【支出の部】

| 費目         | 予算額              | 決算額            | 増減(△)額             | 説明   |
|------------|------------------|----------------|--------------------|--|
| 1. 事業費     | 478,300          | 358,300        | △ 120,000          |  |
| 総会費        | 20,000           | 0              | △ 20,000           | 0円   |
| カツオセミナー費   | 0                | 0              | 0                  |  |
| カツオシンポジウム費 | 300,000          | 300,000        | 0                  | カツオシンポジウム支援金 300,000円                            |
| 広報費        | 58,300           | 58,300         | 0                  | 学会HP年間ランニング費用 58,300円                            |
| 会報費        | 100,000          | 0              | △ 100,000          |  |
| 2. 事務局経費   | 78,000           | 128,753        | 50,753             |  |
| 事務経費       | 78,000           | 128,753        | 50,753             | 振込み手数料 3,960円<br>郵便料等立替分 14,900円<br>旅費等 109,893円 |
| 3. 予備費     | 1,050,934        | 0              | △ 1,050,934        |  |
| 予備費        | 1,050,934        | 0              | △ 1,050,934        |  |
| <b>合計</b>  | <b>1,607,234</b> | <b>487,053</b> | <b>△ 1,120,181</b> |  |

**歳入歳出決算**

**【収入】**

**【支出】**

1,598,238 円

—

487,053 円

=

1,111,185 円

を翌年度へ繰り越す。

# 監 査 報 告 書

令和4年度日本カツオ学会の会計監査の結果を下記のとおり報告いたします。

1 監査年月日            令和 5 年 6 月 20 日

## 2 監査結果

令和4年度 日本カツオ学会の収支決算について監査したところ、会計諸帳簿・証票書類等、いずれも正確にかつ適正に処理され不都合な点を発見せず、正当なものと認めたので報告します。

令和 5 年 6 月 20 日

監事

増崎 勝敏 

監事

和泉 政彦 



(Japan Skipjack tuna Society)

第3号議案

## 役員人事について

日本カツオ学会役員(任期：2023. 4. 1～2025. 3. 31)

| 役職名  | 氏名     | 所属                  | 新任・留任 |
|------|--------|---------------------|-------|
| 会長   | 川島 秀一  | 東北大学災害科学国際研究所       | 留任    |
| 副会長  | 受田 浩之  | 国立大学法人高知大学理事        | 留任    |
| 副会長  | 高津 伊兵衛 | (株)にんべん             | 留任    |
| 副会長  | 松本 敏郎  | 高知県黒潮町町長            | 留任    |
| 会計役  | 今西 和彦  | 高知県黒潮町              | 留任    |
| 事務局長 | 吉用 武史  | 高知大学次世代地域創造センター     | 留任    |
| 運営委員 | 二平 章   | 茨城大学人文社会科学部         | 留任    |
| 運営委員 | 上田 不二夫 | 元・沖縄大学              | 留任    |
| 運営委員 | 大海原 宏  | 元・東京水産大学            | 留任    |
| 運営委員 | 和田 俊   | 元・東京海洋大学            | 留任    |
| 運営委員 | 井上 裕   | 高知県黒潮町              | 留任    |
| 運営委員 | 前田 祝成  | 鹿児島県枕崎市市長           | 留任    |
| 運営委員 | 末永 芳美  | 元・東京海洋大学            | 留任    |
| 運営委員 | 小倉 未基  | 元・国立研究開発法人水産研究・教育機構 | 留任    |
| 運営委員 | 森岡 克司  | 高知大学農林海洋科学部         | 留任    |
| 運営委員 | 島村 智子  | 高知大学農林海洋科学部         | 留任    |
| 運営委員 | 土居 幹治  | マルトモ(株)             | 留任    |
| 監事   | 増崎 勝敏  | 大阪府立港高等学校           | 留任    |



(Japan Skipjack tuna Society)

|    |       |          |    |
|----|-------|----------|----|
| 監事 | 和泉 政彦 | 高知県土佐清水市 | 留任 |
|----|-------|----------|----|

日本カツオ学会定款より抜粋

### 第3章 役員

(種類及び定数)

第12条 本会に次の役員を置く。

|      |     |
|------|-----|
| 会長   | 1名  |
| 副会長  | 3名  |
| 会計役  | 1名  |
| 事務局長 | 1名  |
| 運営委員 | 若干名 |
| 監事   | 2名  |

(選任等)

第13条 役員は総会において選任する。

- 2 監事については、会員以外の者から選任することができる。
- 3 監事は、他の役員を兼ねることができない。

(職務)

第14条 省略

(任期)

第15条 役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。





(Japan Skipjack tuna Society)

## 企画委員・編集委員の選任について

日本カツオ学会 企画委員(任期：2023. 4. 1～2025. 3. 31)

| 委 員 | 役職名    | 所 属  | 新任・留任               |    |
|-----|--------|------|---------------------|----|
| 委員長 | 受田 浩之  | 副会長  | 国立大学法人高知大学理事        | 留任 |
| 委員  | 松本 敏郎  | 副会長  | 高知県黒潮町町長            | 留任 |
| 委員  | 上田 不二夫 | 運営委員 | 元・沖縄大学              | 留任 |
| 委員  | 和田 俊   | 運営委員 | 元・東京海洋大学            | 留任 |
| 委員  | 前田 祝成  | 運営委員 | 鹿児島県枕崎市市長           | 留任 |
| 委員  | 末永 芳美  | 運営委員 | 元・東京海洋大学            | 留任 |
| 委員  | 小倉 未基  | 運営委員 | 元・国立研究開発法人水産研究・教育機構 | 留任 |
| 委員  | 島村 智子  | 運営委員 | 高知大学 農林海洋科学部        | 留任 |
| 委員  | 土居 幹治  | 運営委員 | マルトモ(株)             | 留任 |

日本カツオ学会定款より抜粋

### 第10章 企画委員会

(設置等)

第41条 役員会のもとに企画委員会を置く。企画委員会は企画委員長及び企画委員で構成し、企画委員長がこれを代表する。

(選任等)

第42条 企画委員は若干名とし、役員から役員会の議を経て選任する。委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

2 企画委員長は、選任された企画委員の互選による。

(職務)

第43条 企画委員会は、本会の実施する事業の企画を主管する。



(Japan Skipjack tuna Society)

日本カツオ学会 編集委員(任期：2023. 4. 1～2025. 3. 31)

| 委 員 |       | 役職名  | 所 属            | 新任・留任 |
|-----|-------|------|----------------|-------|
| 委員長 | 川島 秀一 | 会長   | 東北大学 災害科学国際研究所 | 留任    |
| 委員  | 大海原 宏 | 運営委員 | 元・東京水産大学       | 留任    |
| 委員  | 井上 裕  | 運営委員 | 高知県黒潮町         | 留任    |
| 委員  | 森岡 克司 | 運営委員 | 高知大学 農林海洋科学部   | 留任    |

日本カツオ学会定款より抜粋

## 第 11 章 編集委員会

(設置等)

第 44 条 役員会のもとに編集委員会を置く。編集委員会は編集委員長及び編集委員で構成する。

(選任等)

第 45 条 編集委員は、役員から役員会の議を経て選任する。委員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

2 編集委員長は、選任された編集委員の互選による。

(職務)

第 46 条 編集委員会は、本会の発行する会誌その他の出版物の編集業務を主管する。



(Japan Skipjack tuna Society)

## 顧問の委嘱について

日本カツオ学会 顧問(任期：2023. 4. 1～2025. 3. 31)

| 役職名 | 氏名    | 所属               | 新任・留任 |
|-----|-------|------------------|-------|
| 顧問  | 若林 良和 | 国立大学法人愛媛大学理事・副学長 | 留任    |

日本カツオ学会定款より抜粋

### 第4章 顧問

(顧問)

第18条 本会に顧問を置くことができる。

- 2 顧問は、学識経験のある者又は本会に功労のあった者の中から総会の承認を経て、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長の諮問に応じ会議に出席し、意見を述べることができる。ただし、表決に加わることはできない。
- 4 顧問は、無報酬とする。
- 5 顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。ただし、再任を妨げない。

## 令和5年度事業計画(案)

日本カツオ学会は、平成23年1月8日の発足から13年が経過した。カツオフォーラムとカツオセミナーを定例行事として開催し、カツオ学会関係者並びにカツオ産業関係者の皆様が本学会活動を通じて、カツオの資源・経済・社会・文化など多様な価値を問い直すことを念頭に活動してきた。

令和2年から続く新型コロナウイルス感染症による影響は令和4年度も引き続いており、セミナー及びフォーラムの開催は困難であった。一方で徐々に社会活動の持ち直しの兆しも見られ、令和4年度のカツオフォーラムは3年ぶりの対面開催を実現した。

令和5年度のイベントは引き続き対面形式での開催を検討し、状況に応じてオンライン開催やセミナー&フォーラムの合併開催も検討する。

### 1. 令和5年度「カツオセミナー&フォーラム in 日本橋」の開催

(1) 令和5年度冬頃

(2) 場所：東京都日本橋近辺

(3) 概要：カツオの現状を一般向けにより広く周知させるため、情報発信力の高い東京日本橋で開催する。鰹節やSDGsをテーマとして、注目度の高い企画を検討する。予想される予算の不足分については、一般財団法人東洋水産財団の食品科学奨励金の採択を受けることでカバーする。

参考：(別紙1) 食品科学奨励資金申請書

### 3. 会員の確保

地域・領域・学問・立場など様々なレベルを超えて、つむぎ合うために、全国のカツオに興味や関心を持つ多くの人に参加を呼び掛け、学会の発展を目指す。

また、年度の切り替え時期には、最も多い個人会員の人事異動などを考慮して、関係機関においては、会員の維持・確保に向けた対応を積極的に行っていく。

### 4. 恒常的事業

(1) 日本カツオ学会ホームページの充実

平成23年9月に立ち上げた本学会のホームページの充実を図るとともに、会員相互の情報交換の場として活用、展開していく。



(Japan skipjack tuna Society)

(2) 日本カツオ学会会報誌等の発行

本学会活動を広く広報し周知を図るために、引き続き会報誌を発行する。発行回数は2回を目標とする。内容は学会活動（フォーラム等）の報告の他、研究者から調査研究内容を寄稿いただく。

また、カツオの現状や課題を整理し、一般向けに広く理解を得るための資料として課題整理図を作成する（別紙2：作成途中）。地球規模の環境環境や社会問題、市場原理に基づく経営課題等、カツオを取り巻く問題は複雑かつ多岐に渡ることから、これらを整理しイメージとして可視化することで課題の全体理解に役立てると共に、各課題に対応した具体的な活動の端緒とする。本資料は今後の対外的な活動に使用する。

(3) 役員会及び企画委員会と編集委員会の開催

必要に応じて、臨時役員会や両委員会の開催を行う。特に、企画委員会と編集委員会にあっては、メール会議等を活用して各委員に周知を図りながら、意見集約を行い、より多くの意見が結果に反映できるように対応していく。



(Japan skipjack tuna Society)

第4号議案 (別紙1)

令和5年4月25日

一般財団法人東洋水産財団  
令和5年度 食品科学奨励金 申請書

|     |              |                     |
|-----|--------------|---------------------|
| 申請者 | 所属・役職        | 日本カツオ学会・会長          |
|     | (ふりがな)<br>氏名 | かわしま しゅういち<br>川島 秀一 |

|             |                                      |                             |        |                      |
|-------------|--------------------------------------|-----------------------------|--------|----------------------|
| 1. 申請内容     | カツオフォーラム in 日本橋 ～江戸から学ぶ、カツオ資源の持続可能性～ |                             |        |                      |
| 2. 連絡先及び連絡者 | 住所                                   | 〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2-17-47 |        |                      |
|             | Tel                                  | 088-844-8734                | E-mail | katsuo@kochi-u.ac.jp |
|             | 所属・役職                                | 日本カツオ学会・事務局長                |        |                      |
|             | 氏名                                   | 吉用 武史                       |        |                      |

3. 具体的な事業の内容と効果

カツオは古来、花鳥風月を愛する日本人の食と文化に大きな影響を与えている。ところが、カツオ一本釣りの盛んな高知県・黒潮町の漁業者から、「カツオが、これまでのように獲れなくなってきた・・・」という直感的な不安の声が発信された。そのことをきっかけに、平成21年10月に、産・学・官の枠組みと地域を超えて、カツオにゆかりのある全国の人たちが集い「第1回カツオフォーラム」が黒潮町で開催された。その結果、カツオに関する様々な課題や可能性が明らかになり、「黒潮一番地宣言」が発表された。その宣言で確認されたように、私達にとって、これまで身近な食材であったカツオ資源の実態はどうなっているのか、そして、カツオに関わる漁撈、加工、流通、消費、文化がどのような現状にあるのか、また、カツオの高付加価値化や有効な利用方法にはどのような可能性があるのかなど、さらに継続した調査・研究と課題への挑戦が必要との認識に至った。



そこで、将来にわたり、日本人とカツオとの「上手な付き合い方」を探るために、カツオ産業の盛んな地域と産・学・官の関係者、及び、カツオに興味がある人々が集い、各種の情報交換をはじめ、調査・研究を継続して行う場として、平成23年1月に「日本カツオ学会」を設立した。

学会設立後、主たる事業として以下事業に取り組むことで、地域資源としてのカツオ、食品としてのカツオを総合的な視点で検討してきた。令和4年3月末時点で個人会員 131 名、団体会員 35 団体、賛助会員6団体の会員登録を得ている。

- ・カツオフォーラムの開催(年1回、計12回開催)
- ・カツオセミナーの開催(年1回、計8回開催)
- ・日本カツオ学会会報誌の発行(年1,2回、計13回発行)
- ・枕崎カツオマイスター検定の共催
- ・学会10年史の作成(令和2年度食品科学奨励金)



令和4年度カツオフォーラム in 高知  
(令和5年3月10日開催)

特に日本各地で開催するカツオフォーラムは、全国の自治体にネットワー



(Japan skipjack tuna Society)

クを有する学会として、とりわけ注力する事業である。過去のフォーラムの開催地は高知県黒潮町、鹿児島県枕崎市、沖縄県宮古島市、宮崎県日南市、高知県中土佐町、宮城県気仙沼市、高知県高知市、和歌山県那智勝浦町、三重県志摩市など、全国の地方都市で開催してきた。その意図として、全国のカツオに関する現状や課題など現場の声を、学会を通じて農水省・水産庁等に伝える役割を果たすためであった。計 12 回を重ね、水産庁と現場との橋渡しも重ねる中で、双方が認識共有する一つの問題点が浮かび上がった。それは、現場も水産庁も、それぞれの立場で出来得る限りの努力はしつつも、問題解決への道筋が見えてこない。その最大の理由は、カツオの消費者である一般市民が、カツオの現状を十分に理解できていないこと。そのためにカツオ資源の危機的状況や出汁文化の継承に対する課題意識も醸成されない。これが根本的な問題点として挙げられた。カツオの供給側である現場は、需要側から堅実な買いの要望があることが事業継続を担保する要件である。また、水産庁も国際会議での交渉の場面で、日本の食文化を守るためにカツオ資源の管理を強く主張するためには、国民世論としての後押しがあるかどうか重要である。

13年にわたる学会活動を通じて、カツオに関する知見や、現場と水産庁とのネットワークも形成してきた。次のフェーズとして、これまでの蓄積を生かして幅広い広報を学会活動として展開したい。そのために、令和5年度のカツオフォーラムは、初の東京開催を企画し、その開催場所として日本の中心地と言える日本橋を検討する。日本橋を先ず検討する理由として、江戸の時代から人や文化の起点であったことに加え、江戸の社会自体が循環型社会であった。現代においても国内・世界からのアクセスに優れ、イベント開催も豊富であり、人や情報の集約・発信拠点として最適である。また、本学会の高津副会長が(株)にんべん代表取締役社長であり、(株)にんべんの本社および本店が日本橋に位置していることから、(株)にんべんとのコラボ企画、特に「鰹節」を軸にした企画が検討できる。その他、歴史的背景や地の利を生かした講演者として SDGs や食の第一人者など、魅力ある企画が実施可能である。開催時期は秋(10月、11月頃)を検討し、学会の企画委員会メンバーの協力も得ながら注目度の高い企画を実行する。

カツオは身肉を直接食する機会が一般的には少ないため、マグロやウナギなどと異なり危機意識が喚起されにくい。しかしながら、あらゆる漁業資源の中でも日本人にとってカツオの重要性はとりわけ高い。その重要性を強く認識していただくためにも、高い情報発信力を持った企画を実施したく、貴財団食品科学奨励金への申請を行うものである。本企画を契機として、国内外へのカツオの価値の再認識に繋がることを期待される。

#### 4. 本奨励金の希望金額と主な使途

希望金額: 50万円

〔内訳〕

- ・会場使用料 40万円
- ・会場設備備品貸借料 10万円

上記に加え、講演者旅費謝金15万円、広報媒体作成費10万円、学会関係者旅費5万円、会場配布資料作成費5万円、雑費(消毒用アルコール、マスク、事務用品等)5万円、これら計40万円は、学会の自己財源により拠出する。

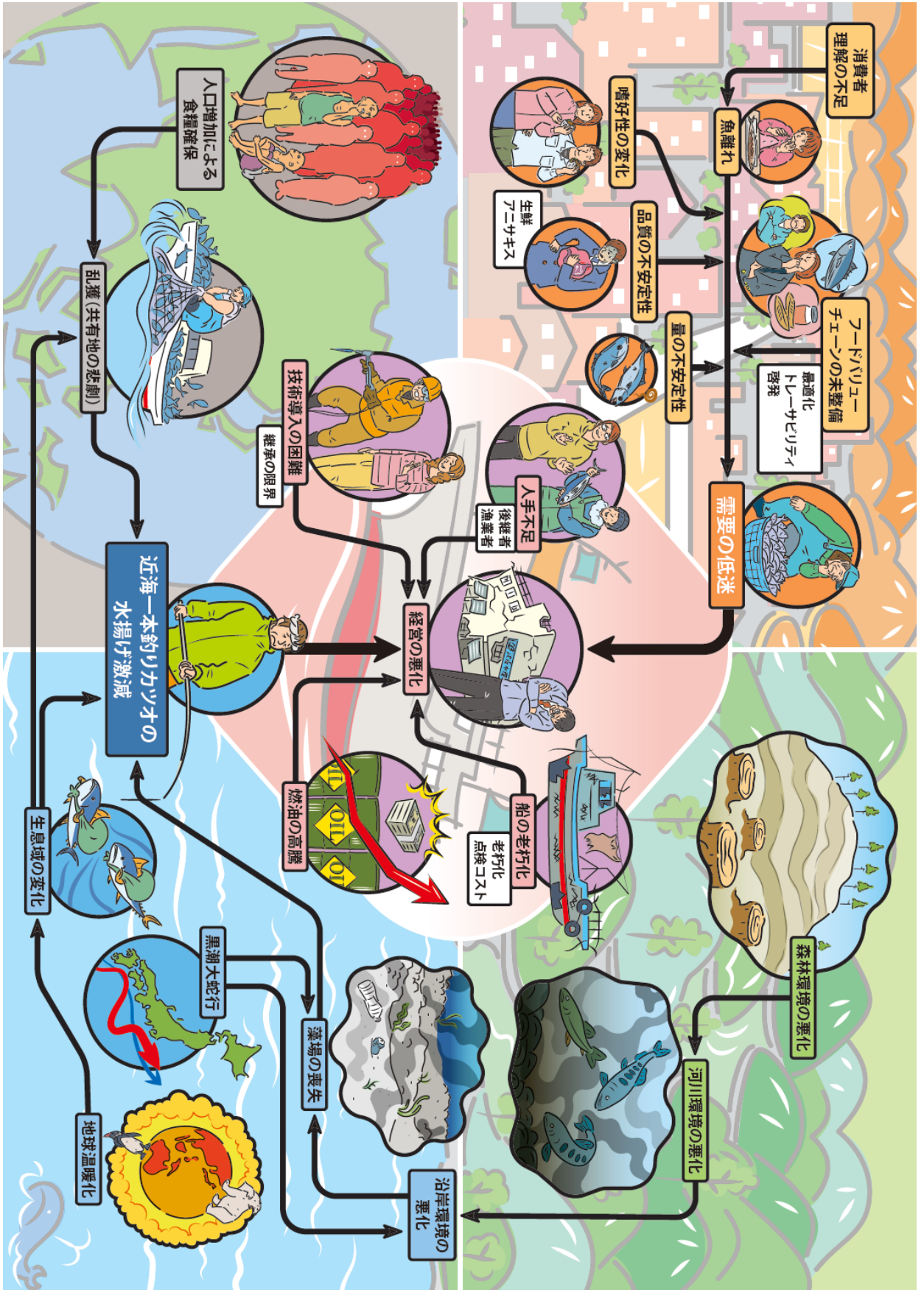
枠の行数は適宜変更されても構いませんが、全体で2枚に収めて下さい。

提出先: 〒108-0075 東京都港区港南 2-13-40 東洋水産(株)内

一般財団法人東洋水産財団 宛



第4号議案 (別紙2)





## 収入の部

単位:円

| 費目        | 前年予算額            | 予算額              | 増減額            | 説明  |
|-----------|------------------|------------------|----------------|---|
| 1. 会費     | 596,000          | 497,000          | △ 99,000       |   |
| 個人会員      | 96,000           | 57,000           | △ 39,000       | 19人 × 3,000円 = 57,000円  |
| 団体会員      | 260,000          | 290,000          | 30,000         | 29団体 × 10,000円 = 290,000円                                     |
| 賛助会員      | 240,000          | 150,000          | △ 90,000       | 5口 × 30,000円 = 150,000円                                       |
| 2. 雑入     | 9                | 500,005          | 499,996        |   |
| 雑入        | 9                | 500,005          | 499,996        | 預金、金利5円(令和4年度利息実績額)<br>東洋水産財団 食品科学奨励金 500,000円<br>合計 500,005円 |
| 3. 繰越金    | 1,101,225        | 1,111,185        | 9,960          |   |
| 前年度繰越金    | 1,101,225        | 1,111,185        | 9,960          |   |
| <b>合計</b> | <b>1,697,234</b> | <b>2,108,190</b> | <b>410,956</b> |   |

## 支出の部

単位:円

| 費目         | 前年予算額            | 予算額              | 増減額            | 説明   |
|------------|------------------|------------------|----------------|--|
| 1. 事業費     | 478,300          | 1,428,300        | 950,000        |  |
| 総会費        | 20,000           | 20,000           | 0              | 令和5年8月開催   |
| カツオセミナー費   | 0                | 0                | 0              |  |
| カツオシンポジウム費 | 300,000          | 900,000          | 600,000        | 令和5年度冬頃開催予定  |
| 広報費        | 58,300           | 408,300          | 350,000        | HP維持費 58,300円<br>カツオ課題イラスト制作費 350,000円                                       |
| 会報費        | 100,000          | 100,000          | 0              | 会報誌発行(送料、執筆者謝金等 50,000円×2回)  |
| 2. 事務局経費   | 78,000           | 78,000           | 0              |  |
| 事務経費       | 78,000           | 78,000           | 0              | 通信運搬費 20,000円<br>監事旅費(1人分) 13,000円<br>土佐清水～黒潮町(1泊2日) 13,000円<br>消耗品等 45,000円 |
| 3. 予備費     | 1,050,934        | 601,890          | △ 449,044      |  |
| 予備費        | 1,050,934        | 601,890          | △ 449,044      |  |
| <b>合計</b>  | <b>1,607,234</b> | <b>2,108,190</b> | <b>500,956</b> |  |